



篠原小学校「学校だより」

令和7年7月1日

しのささっ子

～ホームページも御覧ください。ブログが充実しています。～



命について考える日

浜松市では、6月12日を「いじめや命について考える日」に定めています。本校では、16日から1週間をいじめや命について考える週間に設定しました。

16日の朝に学校全体でリモートでの集会を行い、校長から、人の気持ちを色水に例え、うれしい言葉や励ましの言葉をもらうときれいな色になっていくこと。嫌な言葉や傷つく言葉は一度言われると、きれいな色に戻すのは難しいという話をしました。



また、学年、学級の児童の発達段階に合わせて、各学級で道徳科、学活の授業を行い、命の大切さやいじめについてみんなで考えました。子供たちひとりひとりが、「いじめをなくすためにはどうしたらよいか。」「命はたった一つしかないかけがえのないものである。」「自分の命を大切にしていきたい。」などの意見が聞かれました。

また、篠原小学校児童会キャラクター「しのささーず」による「いじめと命について考える」動画を上映しました。委員長たちは、「いじめは絶対にしてはいけない」ことを篠原小の児童一人一人にどうすれば伝わるかを考え、2つの案に決めました。1つ目は、教室の中でありそうな身近な場



面に着目して、少しの軽はずみな行動もいじめにつながる可能性があるということ、2つ目は、いじめにつながるからいけないことや篠原小学校で増やしていきたいことを分かりやすい言葉で動画にしました。各学級で、作成した動画を見てもらい、動画で見たことから考えたことや、そこから発展して学級ではどのような行動をすればいじめが起きないかを考え、平和の象徴である鳩をかたどった画用紙に考えを書きました。各学級の宣言を図書室前に掲示してあります。機会がありましたら御覧ください。どの学級も、熱心に話し合ったことが分かると思います。

これらの活動を生かしながら、今年度の学校教育目標「心と心が響き合う学校」を目指して、子供たちと共に前進していきたいと思っています。

